

2019年7月23日
株式会社みずほ銀行

J-REIT初のシンジケーション方式グリーンローンのアレンジャー就任について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、このたび、J-REITである福岡リート投資法人（以下「本投資法人」（※1））が調達を計画するJ-REIT初のシンジケーション方式グリーンローンのアレンジャーに就任しました。

グリーンローンとは、資金用途を環境に配慮した事業への用途に限定したローンです。ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の拡大を背景に、環境面を重視する債券としてグリーンボンド市場が急速に発達する一方で、融資分野では、国際的なガイドラインがなく、環境分野に用途を特定する融資ルールの策定が待たれていました。かかる状況下、2018年3月に、ローンマーケット協会（Loan Market Association、以下「LMA」（※2））とアジア太平洋地域ローンマーケット協会（Asia Pacific Loan Market Association、以下「APLMA」（※3））がグリーンローン原則を共同策定し、今後のマーケット拡大が期待されています。

本件は、LMAとAPLMAが共同策定した原則に準拠したシンジケーション方式のグリーンローンとしては、J-REITとして初めて調達するケースとなります。

事業環境変化により、企業にとってESGへの対応が重要な経営課題となる中、本投資法人とグリーンローンを含む環境関連ファイナンスの活用について協議・スキーム構築を行ってきました。なお、本件のグリーンローン評価については、株式会社日本格付研究所から取得しています。また、本件は、DBJ Green Building認証（※4）を有するキャナルシティ博多の取得資金に係る借入金のリファイナンス資金に使われます。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、グループ全体で推進する態勢を強化しています。総合金融グループとして知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

<案件概要>

融 資 先：福岡リート投資法人

組 成 金 額：総額 22 億円

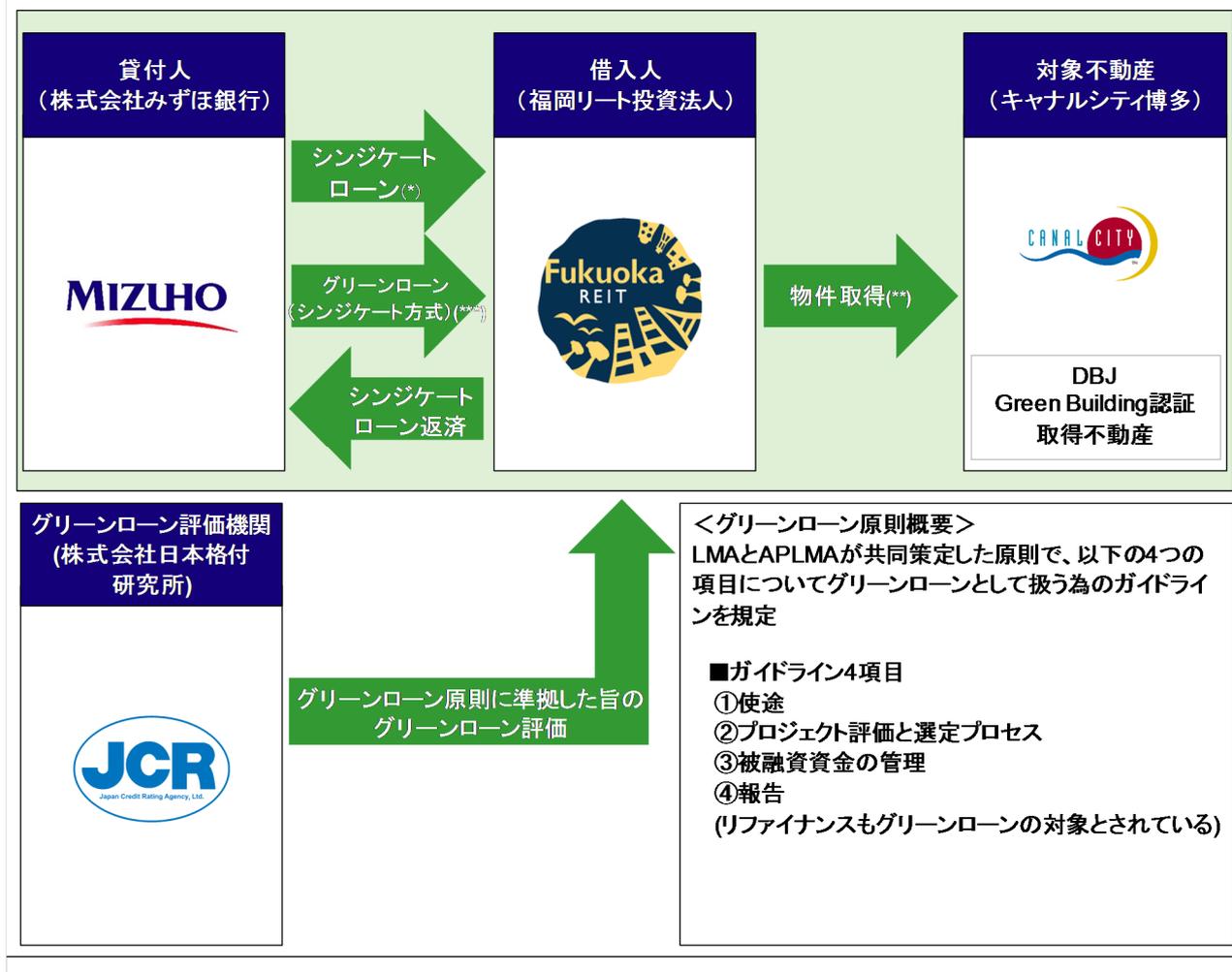
（みずほ銀行 12 億円、佐賀銀行 5 億円、肥後銀行 5 億円）

契約締結日：2019 年 7 月 29 日（予定）

実 行 日：2019 年 7 月 31 日（予定）

ス キ ー ム：下図参照

本件グリーンローンの仕組み



* 2014年7月31日実行済みのシンジケートローン

** 2014年7月31日実行のシンジケートローンの資金用途として2014年11月9日に取得済み

*** 2019年7月29日付契約締結予定のグリーンローン

(2014年7月31日実行のシンジケートローンリファイナンス資金)

(※1) <福岡リート投資法人概要>

投資法人名	福岡リート投資法人
所在地	福岡市博多区住吉一丁目2番25号
資産運用会社	株式会社福岡リアルティ
資産運用会社の コアスポンサー	福岡地所株式会社
資産運用会社の スポンサー (五十音順)	九州電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 株式会社九電工 西部瓦斯株式会社 株式会社西日本シティ銀行 西日本鉄道株式会社 株式会社日本政策投資銀行 株式会社福岡銀行 ロイヤルホールディングス株式会社

(※2) ローンマーケット協会：

ヨーロッパ、中東、アフリカ地域のローン市場の拡大等を促進することを目的に1996年に設立。本部はロンドン。

(※3) アジア太平洋地域ローンマーケット協会：

アジア太平洋地域のローン市場の拡大等を促進することを目的に1998年に設立。本部は香港。

(※4) DBJ Green Building 認証：

環境・社会への配慮がなされた不動産（「Green Building」）を支援するために、2011年4月に株式会社日本政策投資銀行が創設した認証制度。対象物件の環境性能に加え、防災やコミュニティへの配慮等を含む様々なステークホルダーへの対応を含めた総合的な評価に基づき、社会・経済に求められる不動産を評価・認証し、その取り組みを支援するとされている。

以 上